

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

JUNE

Vol. 12

2023.6



瑞光寺 (嬉野宿本陣)

Rotary



ガバナー
月信

2022-2023年度
国際ロータリー第2740地区

ガバナー 上村 春甫

2022－2023年度 国際ロータリーのテーマ



イマジン ロータリー

index

ガバナーメッセージ	2
ガバナー補佐退任挨拶	4
地区委員長退任挨拶	9
委員会報告	
①社会奉仕委員会報告	16
②国際青少年交換委員会報告・交換学生マンスリーレポート（4月分）	17
佐賀ローターアクトクラブ例会参加報告	20
2023年3月会員数・出席報告	21
新会員紹介	22
寄付者紹介	22
肥前國の風景	裏表紙

表紙説明 | 瑞光寺（嬉野宿本陣）

瑞光寺は、藩政時代の98年間に渡り旧長崎街道・嬉野宿の本陣として運営されました。

文政9年（1826年）には、江戸参府のためオランダ商館医のシーボルトも宿泊しました。

表紙・本文帯
「月信」揮毫

牛島 征四郎
(佐賀RC)



過ぎし1年に「親睦」を思う

2022-2023年度 第2740地区 ガバナー 上村 春甫

麦秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、いよいよガバナー最後の月を迎え、慌ただしく過ぎ去ったという感がありますが、皆様との「親睦」を深めることができたと強く感じるこの1年を振り返っているところです。

今月は「ロータリー親睦活動月間」でもありますので、この1年の御礼かたがた過ぎし1年と「親睦」について述べてみたいと思います。

思い返せば、ジェニファー・ジョーンズ今年度国際ロータリー会長のR Iテーマ「イマジン・ロータリー」及び「多様性」「公平さ」「包摂」を踏まえた会員の積極的参加の鍵としての「女性」「若者」「リーダーシップ」の強調を受けた、「『想像』して『創造』しよう…ロータリーで未来を！」の地区テーマ及び「女性会員の増強と女性会員の積極性と帰属意識とが醸成されるような環境の整備」「青少年活動の活性化」「リーダーシップ開発活動の強化」の地区活動及びクラブサポートの重点項目を掲げて、第2740地区恒例の祐徳稻荷神社にて安全祈願を行ういわゆる「鹿島立ち」の参拝を行い、各クラブへの公式訪問を開始したのは、昨年7月12日でした。以後、10月11日迄のほぼ3か月間で当地区55のクラブ全てを訪問させていただきました。この間、地区大会

の挨拶でも述べましたが、各クラブの皆様と有意義な意見交換と深い交流とを重ね「親睦」を深めることができたことは、一生の思い出となると思います。公式訪問にご協力いただいた各クラブの皆様へ改めて御礼申し上げます。

各クラブへの公式訪問が終わるとすぐ地区大会となりました。昨年の11月25日から27日で、酒井正人R I会長代理をお迎えし、記念講演の講師は池上彰氏としての、佐賀市での開催でした。R I会長代理歓迎晩餐会、親睦ゴルフ大会も含め、たいへん多くの方に参加いただき、盛況のうちに終えることができました。まさに、酒井正人R I会長代理がご挨拶で述べられた、ロータリー会員及びその家族が「親睦」、インスピレーション、情報、意欲を分かちあう場となり、私のロータリー人生の中でも忘れえぬ思い出として残るものと思います。地区大会の準備にご尽力いただきました、ホストクラブの皆様、コ・ホストクラブの皆様及び地区大会実行委員会の皆様並びにその他準備に参画いただいた全ての方々に対し改めて御礼申し上げます。

地区大会が終わり年が明け、2月に入ると、IM（インターシティ・ミーティング）が始まりました。第2740地区のグループ数は10ですが、2グループ合同のIMが4つありましたので、結局6つのIMに出席いたしましたが、いずれのIMもロータリー

の現在や未来あるいは地域におけるロータリーの在り方などを考えようとするもので、たいへん勉強になりました。また、各IMで皆様とお話しし「親睦」を深めることもでき誠に有意義な時を過ごすことができたと思っています。各IMの開催にご尽力いただきました、ガバナー補佐の皆様、各IM実行委員長、各ホストクラブの会長及び会員の皆様、コ・ホストクラブの皆様並びに準備にご参画いただいた全ての方々に深く感謝いたします。

以上の他にも、年度を通じ、各地区委員会及びクラブで企画・実行していただいた研修・セミナー・式典等多彩な事業等に出席しましたが、皆様熱心なご活動ぶりでありたいへん感銘をうけるとともに、各会場で皆様とお話しし「親睦」を深めることができたといへんよかったですと思っています。各研修・セミナー・式典等の開催にご尽力された全ての方々に改めて感謝いたします。

私は、地区大会のRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会でも述べましたが、「親睦」こそロータリーの神髄であると思っています。なぜなら、「さびしかった」ポール・ハリスが職業人の中の友情と交流とを求めて始めたロータリーにおいて、世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持つ職業人が、例会などの場で、職業上の発想の交換などを通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図るといふ、いわゆる真の「親睦」が行われたことから、「奉仕」の精神が生まれてきたと思うからです。そして、「親睦」とそれに育まれた「奉仕の心」を中核的価値観とするロータリーが、世界に広がる発展を続けているからです。

頭書のとおり、6月は「ロータリー親睦活動月間」で、「ロータリー親睦活動月間」は「国際奉仕活動」に属する概念ではありますが、年度の締めくくりの月が「親睦」を冠する月間というのもロータリーの

本質が何かということを巧まずして示しているように思えてなりません。

いずれにせよ、このように「親睦」の実をあげることができたこの1年は、ロータリアンとしてたいへん充実した1年でした。この1年支えていただいた地区内すべてのロータリアンの皆様、とりわけパストガバナー、ガバナー補佐、地区委員長・委員及びクラブ会長・幹事の皆様並びにガバナー事務所の地区幹事、地区副幹事、会計長、副会計長、事務局長、副事務局長、編集長、副編集長、編集委員及び事務局員の皆様に対し心より御礼申し上げます。

ガバナーの任期が終わりました後も、この経験を活かし、微力ながら、クラブ・地区の発展のために努めていきたいと思っていますので今後ともよろしくお願いいたします。

ガバナー補佐挨拶

第1グループ ガバナー補佐

大家 和義

小城RC



早いもので昨年7月に就任して一年を迎えようとしています。就任前の昨年6月に各クラブへ事前挨拶に伺い、7月就任後に各クラブのクラブ協議会を済ませて、上村春甫ガバナー公式訪問に臨みました。最初は7月12日の鹿島ロータリークラブに始まり、最後は9月22日の上村春甫ガバナー所属の佐賀ロータリークラブで終了しました。

この間は、ガバナー事務所と担当する第1グループの5クラブ（佐賀・牛津・多久・佐賀大和・小城）との日程調整及び第2グループとの共同事業の調整・決定等に務めました。

第1・第2グループ（10クラブ）の共同事業として、9月4日にホテル龍登園（コロナ感染状況により中止）合同例会（佐賀大和）、2月11日にグランデはぐれにて合同IM（佐賀北）、5月20日に佐賀クラシックゴルフ倶楽部にて合同親睦ゴルフ大会（佐賀）、また、9月11日に東与賀海岸シチメンソウ群生地にてロータリー奉仕デー（佐賀南）等に携わりました。各クラブの会長・幹事さんと所属クラブのロータリアンの皆様へ充分なるお世話が出来たかは、寛容の精神をお持ちのロータリアンの皆様に委ねます。

また、7月30日に地区インターアクト年次大会（長崎ブリックホール）に参加し、元気に頑張っている各高等学校の活動報告を受け、分科会でのグループ研修会を視察させて頂き、インターアクトの学生たちのエネルギーに感じて、私も若返った気分でした。このご縁で、8月20日の第2回インターアクト委員会会議にも参加させていただき、事業計画等の報告がありました。

10月は、第1グループの次期ガバナー補佐の選任を佐賀クラブへお願いして、速やかにご推薦をいただきました。

11月は、2740地区最大の行事である「地区大会」が佐賀市において開催されました。25日（金）午後、ホテルニューオータニ佐賀で「研修セミナー」及び夕刻の「RI会長代理歓迎晩餐会」に参加。翌26日（土）の大会当日は四委員会（登録・信任状・選挙管理・決議委員会）に参加。午後は本会議第1部及び池上 彰氏の記念講演「ニュースから世界を見る」を聴講し、本会議第2部に臨み、四委員会の決議報告を終え、大会式典の全てが無事に終了しました。翌27日（日）は親睦ゴルフ大会（フジカントリーGC）で、会員同士の交流を更に深めることが出来ました。

これまでの、ガバナー補佐の先達に負けまいと一年間頑張ってきたつもりですが、まだまだ足りないところが多かったことと思います。全55クラブのロータリアンの皆様、特に上村春甫ガバナーとスタッフの皆様、そして、第1グループの皆様には大変お世話になりました。一年間の格別のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。

第2グループ ガバナー補佐

笠 慶宣

佐賀南RC



あっという間の一年でした。グループ内の各クラブ会長・幹事の方々、そして会員の皆様に心より御礼申し上げます。特に、在籍している佐賀南ロータリークラブの神代会長はじめ会員の皆様には多大なご支援をいただき感謝に堪えません。

今でこそコロナ感染の出口が見えてきたように思いますが、2022年度スタートの時はコロナ感染拡大防止がまだまだ採られていた時期でもありました。そういう中、第1・第2グループ合同会長幹事会において、合同の事業は実施したい旨お話ししたところ、ご賛同をいただくことができました。

例年、7・8月に開催していた第1・第2グループ合同例会は、コロナ感染拡大が下火にならず中止せざるを得ませんでした。9月のロータリーデーにおけるシチメンソウ群生地合同清掃活動は、酷暑にもめげずご参集いただきました。また、2月の合同IM、5月の合同親睦ゴルフ大会は多くの会員の方々のご参加のもと、盛会裡に終えることができ、ホストを務めていただいた佐賀北ロータリークラブ、佐賀ロータリークラブの皆様には、感謝の言葉もございません。ここに、会員の親睦を出会いの場とし、「奉仕の心」という所謂、〈He profits most who serves best.〉というロータリークラブ活動の原点を見たような気がします。

今後、ロータリークラブはじめDEIの取り組みを実施していく組織が増えていくと思われませんが、それと共にロータリークラブも進化していくと思います。『新しみを求めて変化を重ねてゆく』ロータリー活動であることを願ってやみません。

結びに、上村春甫ガバナー・山下雄司地区幹事ほか地区役員、事務局の方々に心より感謝申し上げますとともに、2740地区の益々の発展を祈念申し上げ退任のあいさつといたします。

ガバナー補佐挨拶

第3グループ ガバナー補佐

秀島 寛

太良RC



第3グループガバナー補佐退任に当たりご挨拶申し上げます。

上村春甫ガバナー、山下雄司地区幹事、ガバナー事務所関係者の皆様大変お世話になりました。

7月5日～19日迄クラブ協議会を開催し、第3グループではガバナー合同公式訪問を2回開催致しました。

7月12日鹿島立ちで祐徳稲荷神社にてお祓いして頂き、鹿島市割烹清川で鹿島RC、太良RC公式訪問例会、7月22日嬉野市大正屋で有田RC、武雄RC、嬉野RC大町RC公式訪問例会を開催致しました。

11月25日～26日地区大会が佐賀市で開催され貴重な経験をしました。

12月16日割烹ひさごにおいて第2740地区ガバナー補佐会議を開催して頂き、今後の運営方針、各グループ現状報告をさせて頂きました。会議終了後に意見交換会をしました。美味しい料理（蟹、牡蠣）を頂き美味しいお酒で祝盃し楽しいひと時をありがとうございました。

3月25日に第3グループIMを開催しましたが、太良クラブで初めてのホストで、大町RC、鹿島RC、コ・ホストを務めて頂き記録と記憶に残るIMが開催出来た事に感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

基調講演では3年間待って頂いた太良町在住の野口敏春様に『有明海と海苔養殖』の演題で講演頂きました。宝の海有明海の再生を願うばかりです。

懇親会を割烹ひさごに場所を移して、嬉野伝承芸能、歌謡ショー、中国変面ショー、カラオケ等々第3グループの親睦と融和、友情を深めて頂きました。

今後も第3グループは1つ、チーム第3グループとして活動出来る事をお祈り申し上げます。

この1年間ガバナー補佐として貴重な経験、体験をさせて頂き成長させて頂きました。

最後になりますが、上村春甫ガバナー、山下雄司地区幹事、花島光喜パストガバナー、第3グループの皆様には1年間誠に有難うございました。心から感謝申し上げますと共に第2740地区、各クラブの益々ご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍をご祈念し退任の挨拶とさせていただきます。

第4グループ ガバナー補佐

熊川 嘉秀

唐津西RC



2740地区の皆様、お疲れ様です。

私がガバナー補佐として就任して一年が過ぎようとしています。

思い返せば2021～22年度の地区大会の翌々日、所属クラブの会長からガバナー補佐を打診されました。しかも第4グループ以外の各グループは既に決定しており、返事も翌日の11月いっぱいに行なければならないという切羽詰まった状態での打診でした。

もはや考える時間すらなく『はい』としか答える事の出来ない状況で、打診されて僅か1分で2022～23年度の第4グループのガバナー補佐は誕生する事となったのです。

幸いにしてクラブ内のガバナー補佐の経験者にガバナー補佐の時にやるであろう職務の内容は聞いておりましたので、私でもどうにかなるだろうと安易な気持ちもありました。

実際に9月前までに第4グループへの上村ガバナー公式訪問例会も完了し、あとはIMを開催する時にやる挨拶くらいでガバナー補佐の主たる職務はおしまいだと心も軽く過ごしていました。10月までは……………

ところが、10月の半ば頃にガバナーノミニージェグネート選考の関係者として突然召喚されまして、ガバナーノミニージェグネートを選考しなければならないという大仕事が突然追加され、8割完了していたつもりの方ガバナー補佐の仕事が一気に振り出しに戻った気持ちになりました。

同時にIM開催の準備もあり忙しく過ごす中、IM開催直前に私の体調不良による手術&入院や相次ぐ来賓の欠席の連絡とトラブル続出で通常では得られない貴重な体験の連続をさせて頂きました。

それらの難しい課題もどうにか完了して、いよいよ本当に私のガバナー補佐としての職務が終わろうとしています。

とても独りでは乗り越えられなかったこれらの難題を無事に完遂出来たのは第4グループの各クラブの会員の皆様をはじめ、2740地区全ての関係者の皆様の協力のお陰です。

1年間大変お世話になりました。心より感謝致します。

ガバナー補佐挨拶

第5グループ ガバナー補佐

安部 重幸

平戸RC



2021年11月ごろ次期第5グループガバナー補佐の就任を承諾したと思います。第1グループから第10グループの中で1番遅かったのではないかと思います。ほんとうに山本規仁前第5グループガバナー補佐にはご心配おかけしました。

上村春甫ガバナーの第5グループガバナー補佐として 最初の会議はZoomによる2月27日の地区チーム研修セミナーで3月17日のZoomによる会長エレクト次期幹事研修セミナーと続き、初めての対面式の会議は4月17日に行われた地区研修・協議会でした。

6月15日のホテルニュー長崎で行われた新旧ガバナー補佐交代式・懇親会ではロータリーならではの出会いがあり、たまたま隣になった旧第4グループ松尾ガバナー補佐と名刺交換した後、「角岡先生・白水先生を知りませんか」と尋ねられ、角岡・白水先生は九州歯科大の悪友でして卒後40年になるのですが毎年、年2回ゴルフと飲み会をしている仲間です。「知っていますよ」と答えると「それでは宮原先生も知っていますね」と言われまして宮原先生(旧姓野口)とは開業当初、宮原先生の旦那さんとうちの家内と4人佐賀でよく遊んでいただきました。ただ、旦那さんと離婚されてからは疎遠になっていたのですが松尾ガバナー補佐から「僕の長男と宮原先生の娘さんが結婚したんですよ」と、いわれ、本当にこんな出会いもあるんだと思いました。

7月に入り第5グループのそれぞれのクラブのクラブ協議会に出席して、8月4日北松浦・松浦・平戸クラブ公式訪問と8月17日佐世保・佐世保西の公式訪問に出席してきました。

11月25日RI会長代理晩餐会、26日地区大会本会議、今まで何回も出席してきたのですがガバナー補佐として今回出席してやはり違った感じがありました。

2023年2月23日に久しぶりに行われたインターシティミーティング。「不易流行 ロータリーは何処へ」のテーマのもとクラブフォーラム「わがクラブ自慢!!」パネルディスカッション「不易流行 ロータリーは何処へ」～皆さんの目指すクラブ像は～

本当に今までにないIMでした。橋口佳周第6グループガバナー補佐とホストクラブ佐世保中央ロータリークラブの会員の皆様には感謝です。

1年間RI第2740地区上村春甫ガバナーの第5グループガバナー補佐としてやってきていろいろな出会いがあり、いろいろな経験をさせていただき本当に良かったと思います。

第6グループ ガバナー補佐

橋口 佳周

佐世保中央RC



「思いは実現する」

洋の東西を通じて、どんな啓発書にも書いてあるのは、「成功するためには目標設定と、それに向かう努力と、熱意が必要である」ということではないでしょうか？

今年度当初は、まだまだコロナ禍の中にあり、ロータリーの活動は制約があり最初の研修会などは、Zoomでの会議しかできませんでした。

その中で、私のガバナー補佐としての目標設定は、第5グループ・第6グループ共同のIMをロータリーの創立記念日である2023年2月23日に行う事でした。

勿論会員の安心安全が第1ですので、コロナの拡大があれば中止する事は考えていましたが、準備は2022年7月から始めていました。又そのテーマも最初から「不易流行」とすることに決めていました。そして当日は、コロナも収まり、第5グループ安部ガバナー補佐様はじめ、第5・第6グループの会員の皆様のおかげで無事に開催することができました。

この3年間コロナ禍でロータリーの活動が制限され、クラブの活動も思うようにできない時でした。特に近隣クラブの皆様方と交流することもできない中で、IMを通じて近隣のロータリー会員の皆様と、親しくクラブ目線での討議ができたことは良いことだったと自画自賛しているところです。

ガバナー補佐の就任のご挨拶の中で書きましたが、「烈士暮年 壯心不已」「漢は、年は取ってもやってやるぞ!の気概は失わないことだ」との思いでやってまいりました。

おかげさまで、普段はメイクアップしない第5グループの各クラブにも2回もご訪問させて頂きました。訪問する中でいろいろな出会いを頂きましたことに感謝申し上げます。

ロータリーはいろいろな出会いを設けさせていただき良き機会を与えてくれます。

上村春甫ガバナー、および山下雄司地区幹事そして同期のガバナー補佐のみなさんとの出会いに心より感謝申し上げますとともに、第5グループ第6グループの皆様方に多大なるご協力いただきました事に心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐挨拶

第7グループ ガバナー補佐

里脇 岩男

大村東RC



なかなか決まらないガバナー補佐の選任、会長経験者会議まで開いてもらい、私でできる内容であればと受けさせて頂きました。これから迎える1年は大変な年だと身が引き締まる思いでした。

これから1年は大変なんだろうなと年間行事を調べると、第7グループのクラブ協議会、ガバナー公式訪問、地区協議会、IMの開催。各行事の前後の打ち合わせ、また第7グループでは、会員減少に伴うクラブ減少もありましたが、該当クラブの合併という形で会員持続は出来ました。喜ばしいことです。

たずさわる作業をどのように進めればよいのか手探り状態で、当クラブの事務局に尋ねてみたら歴代ガバナー補佐の活動状況のファイルを歴代ガバナー補佐ごとに整理してあったので、それを参考に活動状況に合わせて進行させていただきました。書類をまとめてくださった事務局に感謝です。

1年を振り返ってみると上村ガバナーをはじめガバナー補佐のかたがた、山下地区幹事、他多くのロータリアンとの素晴らしい出会いがあり、それを通して多くのことを学ぶことが出来ました。私のロータリアンとしての間で最良の一年間であったと思います。わたしを推薦し、支援してくださった第7グループ、各クラブの会長、幹事、会員の皆様には、言葉では言い表せないほど心からの感謝しております。

ロータリアンとして多くの人と共に過ごす時間を頂き、私の“はかり杓”には揺すり、押し入れ、あふれるほどの好意と友情、そして親睦を深めて頂きました。

私にとってこの一年は多くのロータリアンとの出会いで、好意と友情を深めさせていただきました。ただもう少しの寛容さを育めればよいと感じる处もありました。

鈍刀の私が多くのロータリーからいろんな役をもらい、焼き入れされる鈍刀も少しは形になれたかもしれませんが、周りはずっと輝くロータリークラブとなったと思います。

おかげさまでガバナー補佐の責務を無事終えることが出来ましたのも、クラブ会員みな様の温かいご支援とご協力の賜物と心から感謝を申し上げ、退任の挨拶といたします。

この一年本当にありがとうございました。

第8グループ ガバナー補佐

久保 泰正

諫早西RC



この度、上村春甫ガバナー年度のガバナー補佐として、一年間第8グループの会員の皆さまのお手伝いをさせていただきましたが、ガバナー補佐を退任するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

この一年間、沢山のことを経験させていただき、地区のこと第8グループのことを深く知ることができたと感じております。また、第8グループの多くの会員の皆さまと交流し、その熱意や情熱に触れ、深く感銘を受けたことも思い出に残っております。

私は、この一年間のロータリー活動を通じて、すこしでも第2740地区や第8グループの発展に貢献することができたのではないかと感じております。しかし、まだまだ多くの課題もあり、改善点もたくさんあることを改めて感じています。

ガバナー補佐を退任するにあたって、私自身の力足らずを深く感じることはありますが、私としてはこれからも地区やグループの発展を願い、地域社会に貢献することを心掛けていきたいと思っております。

最後になりますが、上村春甫ガバナー、山下雄司地区幹事を始め第8グループの会長、幹事そして会員の皆さま、この一年間、私を支えてくださった方々に心から感謝申し上げます。

ロータリアンの皆さまから学んだこと、新しい出会いやチャレンジ、挑戦は常にあります。私自身、今後も仲間たちと共に、ロータリー精神を胸に、より良い社会のために尽力してまいります。ありがとうございました。

ガバナー補佐挨拶

第9グループ ガバナー補佐

辻村 栄藏

長崎北東RC



昨年、2740地区、第9グループ福江RCの張本民雄ガバナー補佐から、緊張の中でお引継ぎしたガバナー補佐でしたが、任期中を省みる時、ガバナー補佐として上村ガバナーのご指導のもと、地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会およびガバナー公式訪問、クラブ協議会など、上村ガバナーとの連携について不行き届きや不都合が無かったのだろうか、冷や汗が出る思いもありますが、ガバナー補佐として第9グループに属する6クラブ訪問では、コロナ禍ではありましたがコロナ感染も減少傾向でしたので、全てのクラブ訪問を実施してクラブ会長・幹事、皆さんとの面談を実現することが出来たことは幸いでした。

各委員会活動については、コロナ禍で多くのクラブが直面していることですが、長年お付き合いされていた方々との面談・卓話や、各委員会活動目標に支障が及んでいる事を自覚されていて、今年度は特に積極的な目標達成を掲げられているクラブが多い印象でした。

地区チーム研修セミナーをはじめ、6クラブ訪問やクラブ協議会などでは、有意義で活発な活動等を直接お聞きすることも出来ましたし、一つ一つの行事に取り組む過程で、皆様のロータリアンとしての活動に共感することも多く、良い経験と学びをさせて頂いたと思っています。

縁あってお引き受けしたガバナー補佐ですが、上村ガバナーをはじめ各クラブ会長、幹事および会員の皆様のご指導とご協力もあり、何とか任期を終えることが出来ました。

この1年間コロナ禍ではありましたが、全ての関係者のご協力のお陰で、来期の長崎ロータリーRCの天本俊太ガバナー補佐に引き継ぐことが出来ました。有り難うございました。

最後になりますが、ガバナー事務局の皆様のご協力に感謝申し上げます。

有り難うございました。

第10グループ ガバナー補佐

鶴田 修

長崎出島RC



梅本義信ガバナー補佐の後任をお引き受けし早や一年が経とうとしています。昨年の1月から活動が始動しましたが、コロナの第8波によりセミナーや研修会がZoomでの開催を余儀なくされ、漸く対面での会議が出来たのは4月でした。

いよいよ7月から上村春甫ガバナー年度がスタートし、各クラブから送られてきた「活動計画要旨」を拝読し訪問に備えました。そして8月、9月にクラブ協議会、ガバナー公式訪問例会と各クラブを訪問し、それぞれのクラブには歴史があり、またそのクラブ特有の事業や奉仕活動をされており勉強させられることが数多くありました。

上村ガバナーの運営方針の中でも会員増強と戦略計画委員会の進捗状況について特に力を入れさせていただきました。先ず会員増強については各クラブとも運営方針の最初に挙げておりますが、それぞれのクラブが会員全員が一人でも増やそうと努力されておられます。年度末に第10グループの会員数が増えるのを期待します。戦略計画委員会はすべてのクラブで会合を持ちそれぞれの課題を挙げ今後のクラブ目標を定める方向に進んでおり、次年度以降を期待したいと思っております。

今年度のIM（インターシティミーティング）は長崎南RCさんがホストクラブ、長崎東RCさんがコ・ホストクラブとなり2月19日（日）に出島メッセ長崎で本会議を、ホテルニュー長崎で懇親会を開催しました。実行委員会を立ち上げたのが昨年の5月で、当時はコロナの感染者もだいぶ落ち着いて来ており本会議はコロナ対策を万全にして開催することは決まりましたが、問題は懇親会の開催の是非でした。ホテルの予約が1か月前であればキャンセル無料とのことでそれまでに数度委員会を開催し、最終的に開催を決定しました。

本会議、懇親会とも無事に盛況のうちに終了し、次回以降も今回同様に正常な開催となるよう希望したいものです。ホスト、コ・ホストクラブの会長・幹事を初め実行委員会・会員の皆様、本当にお疲れさまでした。そして第10グループ全クラブの会員の皆様のご協力に感謝し御礼を申し上げます。本当に1年間に難うございました。

地区委員長退任挨拶

RLI推進委員会

吉岡 義治

佐賀南RC



ガバナー月信の10号に、千葉憲哉PDGが寄稿された「ファシリテーションとRLI」、11号で「本年度のRLI研修報告」が載っています。皆さん、ぜひとも目を通して頂きたく思います。「明日へのクラブ」のヒントになればと思います。

私がロータリーについて学びたいと思ったきっかけは、「ポール・ハリスの例会への思い」でした。ポール・ハリス曰く、ロータリーの例会は純粹親睦を培う平等世界で、「例会で過ごす時間は、神様になる時間だ」。また“童心に帰る時間だ”とも言っています。エゴの無い、競争のない例会こそ、ロータリアンが“ロータリーの心”を育み、会得し、体得する奉仕の海に他なりません。

私は「みんなで決定の過程を共有しよう」というファシリテーションの手法がまさにそれに値するのではないかという思いで、委員長を引き受けました。

そして、より深くロータリーを知るためのRLI研修は、ファシリテーション形式によるディスカッションで学習プログラムが構成されています。

そのファシリテーションの「参加者の心構え」を紹介します。

- ① 全員が自由に、そして積極的に発言しましょう。(DLは話しやすい雰囲気づくり)
- ② 発言は短く、的確にまとめる(全員の話を聞くため)
- ③ 注意深く意見を聞こう(よい聞き手になろう)
- ④ すべての意見を尊重しあい、他人の発言に対して寛容に!
- ⑤ 活発な討議に協力しよう(テーマに沿った内容で)

まさに、ロータリー例会の源はこの中に全てあります。

私達がこういうものを目指して、早4年になります。RLI研修のDL(ディスカッションリーダー)には、次年度、地区委員会委員長が3名など、多数の方々が地区委員会で活躍しています。

今や地区セミナーはファシリテーション形式を採用しつつ、私達DLもいろんな地区委員会に協力しております。

ロータリーのいろんな事を学びたい方、また私達と一緒にDLをやってみたい方々の、RLI研修の受講参加をぜひともお願い致します。そしてRLI研修の成果をクラブに持ち帰り、いろんな場面に役立てクラブを盛り上げて欲しいと思います。

こういうものをクラブに取り入れ、ロータリーを正しく語り、ますますロータリーを好きになり、それがクラブの活性化・会員増強・退会防止につながるものと確信しております。

クラブ管理運営委員会

野田 初憲

神埼RC



昨年度に引き続き、クラブ管理運営委員会の委員長を務めさせて頂き、年度の終わりに当たりまして、ご挨拶申し上げます。

2022~2023年度、RIテーマ「イマジン・ロータリー」及び、当地区 上村ガバナーの掲げられたテーマ「想像して、創造しよう…ロータリーで未来を！」に基づき、「女性会員の増強と活発化」「青少年活動の活性化」「リーダーシップ開発活動(RLI)の強化」を図りながら、引き続き未来を見据えた持続可能なロータリー活動・運営を行っていくために、当委員会においても活動方針を掲げ充実したロータリーライフが送れるような委員会活動を目指して参りました。

しかしながら、長引くコロナ禍の影響や不安定な世界情勢などにより積極的なロータリー活動が出来ない状況が続く中で、出来る行動を考え、今までの当たり前とは違う「当たり前」を模索しながら対応していく必要がありました。

クラブ管理運営委員会の役割はクラブの効果的な運営のために、各クラブと連携を図りながら活動することで、ロータリーライフの充実・向上の一翼を担う重要な部門と認識し、本年度こそは活動計画に基づき取り組みを実践し、一定の成果をあげたいと考えておりましたが、満足のいく活動が出来ず大変残念に思っております。

政府は5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけを第2類から第5類に引き下げることとしたため、これから先はウィズコロナからアフターコロナとしての対策を考慮したうえで臨機応変に対応し、コロナ前の「あるべき姿」を取り戻すため、積極的な委員会活動が必要となります。次年度においては、効果的で円滑な活動が出来るよう精一杯努めて参りたいと考えております。

最後に、一年間お世話になりました御礼と、次年度の更なるご理解・ご協力をお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

地区委員長退任挨拶

公共イメージ委員会

原田 徹

雲仙 諫早南RC



地区の公共イメージ委員会には委員として3年、委員長として3年、立ち上げから参加させていただき、早いもので6年も関わらせていただきました。未熟な点や、至らぬ点が、多々あったであろうかとは思いますが、皆様からの温かなご協力に支えられ無事に乗り切ることができました。改めて御礼申し上げます。

誰も何も判らない状況から、手探りで進め始めて、①ガバナー及び社会奉仕委員会との共同事業「私達の奉仕活動」という奉仕事例集、②地区公式WEBサイトのリニューアル、③九州4地区の公共イメージ部門合同会議の立ち上げ等を、周りの皆様にご助力いただきながら、何とか成果を残すことができたのではないかと思います。

前述の①、②に関しては公共イメージの向上のみならず、会員増強やクラブの活性化のツールとしてもお使いいただければと思い取り組みました。ご活用いただければ幸いです。

③については2023-2024年度に九州4地区合同で成果を皆様にお示しできるよう、公門次期委員長と一緒にプロジェクトを進めております。

次年度は委員として地区の公共イメージ委員会に残らせていただきます。

引き続き、皆様には2740地区の公共イメージ向上にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます、退任の挨拶とさせていただきます。

職業奉仕委員会

山本 正樹

佐賀南RC



2022-2023年度地区職業奉仕委員長退任に際し、まず皆様にご職業奉仕委員会の活動にご理解とご協力、ご支援を賜りました事この場を借りて御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの収束の兆しを迎えた中、対面にて2022年10月1日に職業奉仕セミナーを開催出来た事は様々な方々のサポートご協力の賜物だと感謝しています。職業奉仕セミナーでは第2800地区パストガバナーである鈴木一作PGの講演により、難しいと言われる職業奉仕の理解が非常に深まりました。それを踏まえてRLI委員会のサポートにより「各クラブでの職業奉仕をどのように伝えているか」「職業奉仕月間における卓話等の取り組み」「各クラブにて四つのテストを唱和しているか」という3つのテーマについてのファシリテーションを行いました。ロータリー歴の長短に関わらず皆さんが活発に発言し、特に職業奉仕の実践に関して様々な取り組みや、新たなアイデアの共有が出来た様子でした。また今後の新入会員にどのように伝えていくかについても話が白熱し、皆様のロータリアンとしての熱い心が伝わってくるファシリテーションだったと思います。

3年間という任期の中でしたが、パンデミックの状況下でも立ち止まることなくロータリーとしての基本理念の浸透や実践のアイデアを共有し納得できる年度を送る事が出来たと考えております。

ロータリークラブの第一の真価は奉仕する人を育成し社会に寄贈する事だと考えます。

会員自身の職業を通じた奉仕の実践とは何かを考え、成熟した多くのロータリアンを育成できるような職業奉仕委員会であり続けていければと祈念しています。

最後に地区委員長に推薦いただき、素晴らしい仲間との出会い、素晴らしい経験の機会を与えていただき心より感謝申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。

地区委員長退任挨拶

社会奉仕委員会

植松 信安

鹿島RC



2022-2023年度の地区社会奉仕委員会テーマを「社会奉仕を通してロータリーの公共イメージと認知度を向上させよう」と定め、一年間の活動報告をさせていただきます。

まず、活動方針1：ロータリー奉仕デーへの積極的参加としました。

ロータリー奉仕デーを2022年9月11日（日）に主に開催することができました。多くのロータリアンの御協力を頂きありがとうございました。

〈参加及び実施状況〉

- 1) 55クラブ中55クラブ参加。
- 2) 9月11日（日）参加…46クラブ
別日参加……………9クラブ
- 3) 事業経費
0円～65,000円（平均14,000円／1クラブ）

次に、活動方針2：「ひとり親家庭支援」について更なる認知度の向上とし、令和5年4月16日（日）に「ひとり親家庭の子供達の現状とロータリークラブとしての活動連携について」と題し、社会奉仕セミナーを行いました。講師は一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさきの事務局長山本倫子様へ依頼し、大変有意義な講演を聞くことができました。出席者は上村ガバナー、山下地区幹事、各クラブより53名、エレクト事務所より戸畑教幸君にお越しいただきました。一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさきの活動が更に認知され、第2740地区において益々子供たちが救われる機会や場所が増えてくれればと思います。

最後に初めて地区委員長を仰せつかり委員会メンバー始め、山下地区幹事、ガバナー事務所に多大なご迷惑をお掛けしたことにお詫び申し上げますと共に多くの方々のご助言、ご協力を頂きましたことに御礼申し上げます。委員長任期1年と短い期間でありましたが多くの学びを頂くことができました。感謝申し上げます。これからはますます社会奉仕委員会の活動が活発に行われ、第2740地区の社会貢献活動に寄与できることを祈願申し上げます退任の挨拶とさせていただきます。

ローターアクト委員会

高松 茂信

鹿島RC



2019～2020年度（4年前）私は自ら手を挙げて地区ローターアクト委員長に就任いたしました。当時、私のおめでたい人間は珍しかったみたいで、クラブ会長・幹事も未経験の私が入会3年目で地区委員長になったかと言えば怖いもの知らずというより、“大好きなアクトと共に時間を過ごしたい”という気持ちの表れだった様に思えます。

ただ、いざ委員長になってみると良い事ばかりではありませんでした。次々と起こる問題、ロータリアンとアクターの間に立たされて、常にジレンマに苦しんでいたのも又、事実であります。何よりも私自身がロータリアンとしての実績や経験が乏しいなか地区委員長に就いた事が一番の問題だったのかも知れません。

今思えば、地区委員長になったのは少し早すぎたのかも知れません。実はウチのクラブメンバーも普段の私の活動についてはほとんど知っておりません。これは私が性格的にシャイという事も関係しているかも知れません。（気持ち悪いと思った方申し訳ありません）

ただ、ロータリークラブは基本単年度制度を採用している為、これ以上委員長を行うのは自他共に良くないと思い退任致します。私自身アクターに「ロータリーの先生に対し、ああしなさい、こうしなさい。」と言った事はほとんどありませんでした。承認欲求と思われたくないからです。これからは後続の方の為に少しずつ言っていこうかなとも思っています。4年間本当にありがとうございました。

地区委員長退任挨拶

インターアクト委員会

長戸 和光

牛津RC



第2740地区インターアクト委員会の委員長退任に当たり、この場を借りてご挨拶申し上げます。

私は本年度で委員長3年目となりましたが、過去2年は新型コロナウイルスの影響でまったく活動ができず、実質1年目の委員長のようなものでした。

本年度については、2022年7月30日に3年ぶりにインターアクト年次大会を長崎中央RCが提唱する純心女子高等学校をホストにして開催することができ、久々にインターアクターが集い、交流する場を提供することができました。

また、インターアクト指導者研修についても、前期はオンラインミーティングの形でしたが、後期については集合型の研修を開催することができ、完全ではありませんが新型コロナウイルス流行以前の形での活動を行うことができました。

委員会についても、年5回に亘り開催することができ、そのほか、委員長として、高松市で開催された全国インターアクト研究会にも参加し、この1年間はこの3年間で初めて委員長としての業務を全うすることができたと感じております。

また、次年度より、当地区の青少年事業については、相互の関連性をより強めた活動が行われることとなりますが、特に後期指導者研修会においては、その準備として、青少年事業間の関係性を理解してもらうための活動も実施することができました。

このようにして、本年度は最低限次年度へ繋げることのできるだけの活動ができたものと自分なりに評価しています。

このような中で、3年間の委員長の任を終えて、後任の委員長に今後の活動を託すこととなりますが、これから本格的な活動が再開されるなかで委員長を終えることを残念に思う反面、何とか次年度以降に活動を繋げることができ安心しているところでもあります。

最後に、この3年間は、未熟な委員長に振り回され、多くの方々にご迷惑をお掛けしたことをこの場を借りてお詫び申し上げますとともに、今後の当地区及びインターアクトを初めとする青少年活動の更なる発展を祈念し、退任の挨拶の結びとさせていただきます。

国際青少年交換委員会 委員長代行

下津浦 正明

佐世保南RC



本年度を振り返って

まずは、国際青少年交換プログラム (YEP) に参加いただいた、すべてのクラブの方、ホストファミリーの方々、学校関係の方々により感謝申し上げますと共に、引き続き今後のプログラムへの支援とご理解、ご協力をお願い致します。ご存知のように、このプログラムは2740地区ロータリー会員のおひとりおひとりから頂いた人頭分担金を活動の原資としておりますので、強い責任感をもって活動に臨んでおることもご承知おきいただきたいと思っております。

暗いコロナの3年を経て、久しぶりにYEPを再開する事になりました。隣県の2730地区などは次年度まで開催しておりません。当地区はコロナ禍でも、絶え間なくYEPオリエンテーションを開催しておりましたので、2740地区の学生は留学準備には余念はありません。

今年度は3人が北米へ、ひとりが台湾への留学です。当然インバウンド4人がそれぞれの交換地区から来日しています。加えて、本年度はオーストラリアよりショートプログラム6ヶ月の学生が2人加わり、いきなり賑やかな活動になりました。

残念ながら、カナダに渡った北島はるかさんが早期帰国となりました。また、インバウンド学生ネイサン パワー君も体調不良のため、早期帰国ということになりました。

本年度は当委員会にとって忘れ難い波乱万丈の年となりました。12月には当委員会委員長が途中辞任、以来、その代行として私が委員長代行を担うことになりました。

2023年正月には台湾に派遣中の鬼塚夏星さんが他の国の学生の4Dルール違反に巻き込まれそうになって、危険な状況となりました。急遽こちらから台湾まで出向き、事を収めて学校などの転籍を台湾側に要求して変更させていただきました。台湾は18歳からの飲酒が許されており、欧米から来た学生は特に4Dルールを軽んじる傾向にあって、台湾ロータリーも強く指導しませんでした。台湾側の指導には大変不満があり、今後台湾との交換は控えた方がよいのではないかと感じました。同じく、早期帰国した北島さんもおなじ様な違反に巻き込まれそうになり、本人も帰国を望みましたので早期帰国としました。

他にも、コロナ禍後の各国のYEOも新人の方が多く、当地区委員会でも学生の対応、ホストファミリーの対応ができずにトラブルが続出することになり、相手国との関係修復も今季中には解決出来ず、今後の課題となりました。しかし、この様な状況のなかでも、次年度出発の学生の準備は万端です。引き続き、皆様には、ご支援ご指導をお願いして退任の挨拶と致します。

地区委員長退任挨拶

RYLA委員会

徳川 清隆

唐津RC



地区RYLA委員長を退任するにあたりご挨拶申し上げます。

本年度、RYLA委員会では、RYLA事業の方向性をロータリーファミリーが集える機会として定め、その機会を創出するために、ロータリーホストクラブと連携を取りながらRYLA事業への開催を目指しました。

6月10日・11日、ホテル ローレイ (佐世保市) にて、テーマ『羽ばたく青少年！ 集うロータリーファミリー！』タイトル ~会社を作ろう！うごかそう！~ の下、講師宮崎正志様をお迎えし開催します。

この事業では、BizWorldプログラムのカリキュラムを受講し受講生が企業家を目指し人材としての資質を磨いていくという内容ですが、そこにロータリー青少年指導者プログラムを根幹とした若者のリーダーシップスキルを育み、若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育むことも含まれています。ロータリーファミリー (ロータリアンと青少年ファミリー) や青少年男女がともに気付き合い、共に考えることでより深いロータリーの奉仕理念を理解し、ロータリーの中核的価値観に触れられると考えました。(ここで青少年ファミリーとは、ロータクト、インタアクタ、国際青少年交換生を示します)

この事業が無事終了する事に、佐世保西ロータリークラブ会長 井上 正人 様はじめとする会員の皆様と実行委員長 樋口聡子 様に感謝申し上げます。

最後になりますが、これまでに、委員会を支えていただきました地区委員の皆様、ご支援をいただきました地区関係各位に感謝申し上げ退任挨拶といたします。有難うございました。

ロータリー財団委員会

岡村 康司

長崎南RC



2022-2023年度は3年ぶりに財団セミナー、補助金管理セミナーの2つの大きな委員会の事業が再開されて財団メンバーとの再会を喜びました。

(1) 財団奨学事業ではグローバル補助金奨学生として長崎大学病院・感染制御教育センター副センター長の田代将人君をアメリカUCLA大学院に無事に送り出すことができました。

(2) 国際奉仕活動では

①モンゴルウランバートル市で佐賀医科大学の香月名誉教授 (佐賀RC) を団長に現地の医療スタッフと協働して口蓋裂手術の医療支援を行いました。

②タイ国北部山岳地帯に暮らす少数民族アカ族の子供たちの教育 (識字率向上) に必要な学校施設の建設に約60万バーツ (¥2,460,000) を支援しました。

6月上旬現地タイを私岡村が訪問し、アカ族の子供たちとふれあうことができ、支援金の贈呈式に出席しました。

(3) 地区補助金は今期14のクラブから申請があり合計20,135ドルを奉仕事業の一部として支給しました。

私の財団委員長も2023年6月を以て4年が経過しました。7月から5年目に入ります。コロナで2年半活動できませんでしたが財団委員会としても世代交代の時期でありますので次年度を引継ぎに要する年として活動していきます。

一先ず今年度のご報告とご協力のお礼申し上げます。

地区委員長退任挨拶

資金推進委員会

西村 勇二

長崎RC



本年度、第2740地区資金推進委員会委員長を仰せつかりました、長崎ロータリークラブの西村です。日頃より財団に対するご支援ご理解をいただきましてありがとうございます。

当委員会はロータリー活動を資金面から支えている「ロータリー財団」に対する寄付を推進する委員会であり、地区が設定した寄付目標（一人あたり年間150\$、ポリオ根絶支援など）にしたがって、その金額を達成できるように支援する活動を行ってまいりました。本年度も各ロータリークラブの皆様方には例年と変わりなく寄付をいただきまして心から感謝申し上げます。

皆様から頂いた貴重なご寄付は世界中の地域社会を変えていくことができます。人々の健康を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を構築できるよう支援できるようになります。次年度も引き続き財団活動並びにご寄付へのご理解とご協力をお願い申し上げます。一年間のお世話になりました御礼と、次年度の更なるご支援をお願いいたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。

ポリオプラス委員会

瀬戸 信二

長崎南RC



昨年度に引き続き2年間、ポリオプラス委員長を務めさせていただきました。今年度で退任するにあたり、在任中の多大なるご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

ポリオは、ポリオウイルス感染により四肢急性麻痺を来す疾患で、ウイルスで汚染された水などがヒトの口に入り、腸の中で増殖し感染します。さらに、感染者の腸で増えたウイルスが排出され下水に流入し、上下水道が整備されていないなど衛生状態が悪い場合に、再びヒトの口に入り、感染が拡大します。1988年WHOにてポリオ根絶計画が採択、世界的な経口生ポリオワクチン接種の徹底により、ポリオウイルス根絶の試みは大きな進捗が見られ、2013年には世界のポリオ症例は99.9%減少しました。さらに、2015年9月に2型野生株、2019年10月には3型野生株の根絶宣言がなされ、現在、残されているのは、1型野生株の伝播が継続しているアフガニスタン（2021～2022年上半期6例）とパキスタン（2021～2022年上半期21例）のみです。このように野生株ポリオウイルスについては、世界根絶宣言も時間の問題とされています。

ところが、経口生ワクチンに使われる弱毒化ポリオウイルスが、ごく稀に遺伝子変異を起こし、野生株と同様の毒性を持つようになることが新たな問題となっています。伝播型ワクチン由来ポリオウイルス（cVDPV）と呼び、2017～2021年の間に、その発生が38か国で1900例以上確認されています。cVDPVは、ポリオワクチンの接種割合が極端に低下した地域で、ワクチン株ウイルスが下水などで少なくとも1年以上にわたって循環し続けた場合に、発生する可能性が出てきます。「ワクチンの接種率が低下し、人口密度が高く非常に不衛生な場所、例えば都市のスラム街」でcVDPVが広がる懸念が浮上しています。野生株の根絶を完了させることがcVDPVの発生・伝播を止めることにもつながります。この予防には、ワクチン追加接種とウイルス検出サーベイランスがとて重要で、加えて、貧困・衛生状態改善への対策など、更なるあと一歩の努力が求められています。ロータリアンの皆様のご理解とご協力・ご支援宜しくお願いします。

地区委員長退任挨拶

資金管理委員会

西川 義文

大村RC



今年度は地区補助金申請時に予測していた1\$=110円の予想がロシアのウクライナ侵攻に係わり、世界経済の大変動に連動したような日本円の大幅な円安効果により、当初予定していた各クラブへの補助金支給額が増え、補助金事業報告の決算書作成に各クラブ担当者にご迷惑をおかけしました。

地区補助金実施クラブからの報告書及び決算書については、これらの状況に鑑み適切に対処し、またロータリー財団本部（TRF）の地区補助金「授与と受諾の条件」に沿い、報告受理作業を進めていきます。

グローバル補助金事業につきましては、2020年度承認された #2011973, “Hepatitis Free Mongolia, Phase 2”モンゴル国の各地区で集団検診での肝炎早期発見事業を佐賀医科大学及び佐賀RC江口医師の協力にて実施が出来ました。2018年11月にグローバル補助金事業に承認されたネパールでの水と衛生問題に関する改善プロジェクト事業はコロナ禍により現地のロックダウンにより作業が遅れ、21年になってTRFへの完成報告を提出することが出来ましたが、2740地区として完成確認作業が海外渡航制限の影響で行えませんでした。本年、ネパールまで出向き確認作業を終えることが出来ました。

次年度からは、コロナ禍前のような状況になると予想されています。

R財団委員会シェアシステムを活用した各クラブが行う地区補助金事業の有効活用を更に資金管理委員会として進めていきたいと思ひます。

会員皆様のご協力に感謝申し上げ、退任挨拶といたします。

米山記念奨学委員会

松田 洋一

諫早北RC



2022～2023年度上村ガバナーの下、米山記念奨学委員会地区委員長を務めさせて頂きました。

ロータリアンの皆様におかれましては、日頃より米山記念奨学事業を支えて頂きまして誠に有り難う御座います。

又、ガバナーをはじめ地区役員・地区委員の皆様には、大変お世話になりました。皆様のお陰で、地区奨学事業を全て予定通りに遂行する事が出来ました。

今年度は7月の研修旅行で、以前からの念願であった静岡県の米山記念館に奨学生を連れて行く事が出来ました。米山梅吉氏の偉業や奨学金のルーツを奨学生に理解させる、とても良い機会になったと思ひます。又、鎌倉見学や、熱海温泉、横浜中華街等の観光を、学生同士一緒に行動する事で、学生同士の親睦がこの旅行を通じて深まったと思ひます。他にも、「クラブ会長・米山委員長セミナー」「学校説明会」「出前卓話」「カウンセラー、奨学生オリエンテーション」「米山の集い」「学友会総会」等、思い起こせば色々な事がありました。

最後の修了式で無事に9名の奨学生を送り出す式典では、1年間の苦勞が報われる様に感動しました。今後奨学期間を終了した学生達が、学友会の一員として将来を切り開いて行く事を期待します。

最後にこの米山奨学事業は、ロータリアンの皆様のご寄付を基に成り立っておりますので、今後とも国際平和を推進する米山奨学事業に、御協力を宜しくお願ひします。又、次年度も米山記念奨学委員会地区委員長を務めさせて頂きますので、引き続きご支援の程を宜しくお願ひします。

社会奉仕委員会報告

社会奉仕委員長 植松 信安 (鹿島RC)

◆ 社会奉仕セミナー報告

令和5年4月16日(日)13時より、東彼杵町総合会館にて「ひとり親家庭の子供達の現状とロータリークラブとしての活動連携について」と題し、社会奉仕セミナーを行いました。講師は一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさきの事務局長山本倫子様へ依頼し大変有意義な講演を聞くことができました。出席者は上村ガバナー、山下地区幹事、各クラブより53名、エレクト事務所より戸畑教幸社会奉仕委員にお越しいただきました。社会奉仕委員会では昨年各クラブへ30分程度の動画を配信し、沢山のご意見を頂戴しました。コロナ禍で延期していた講演を今回1時間15分程度の講演、そのあとの質疑応答と実現できたことを嬉しく思います。

セミナー内容は貧困家庭の現状説明を話していただきました。相対的貧困、貧困の連鎖、ヤングケアラー、教育費、辞書や学習用品の購入資金がないこと、スポーツ用品はもちろんランドセルさえ買えない事、そういったお金の全てが食料品に換算され当然食料を優先せざるを得ない現実があること、親が仕事のために食事を作ってやることのできないために起因する健康障害等々目を背けてはいけない現実、私たちが知らない現実を語っていただき胸が締め付けられる思いで拝聴しました。その上で現在のロータリーとしての仕組みや理念を基に物質的、経済的な支援を頂きたいとの事でした。今回のセミナーの内容は長崎県内のクラブの方は聞いたことがある方も多く実際支援されていらっしゃるクラブもありますが、佐賀県内ではこれから立ち上がります。

一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさきの活動が更に認知され、第2740地区において益々子供たちが救われる機会や場所が増えてくれればと願います。



国際青少年交換委員会報告

◆交換学生マンスリーレポート（2023年4月分より）

① 川添 陽斗さん （スポンサーRC：唐津RC）

例会出席回数 3回／月

ロータリーの集会で最近あった出来事についてスピーチをしました。最初よりも質疑応答などにも答えることが出来ているので前より成長してきたなと感じます。

TriConで開かれた集会に参加しました。3つのディストリクトから人が集まって来ていたので沢山の人がいました。他の留学生とバッジを交換したり沢山の思い出を作ることが出来ました。

●その他近況等の報告

皆さんこんにちは。川添陽斗です。

病気になることも無く元気に過ごしています。

3つ目のホストファミリーの都合が悪くなったとの事で6月1日からファーストホストファミリーの家に戻ることになりました。

無事にウェスト・コーストの旅行代を払うことが出来、6月10日から23日の旅行に行くことが出来そうです。しかし残念ながら6月10日が高校の卒業式なので卒業式には参加できなさそうです。

その分旅行を沢山楽しもうと思います。

4月1日 ハートフォードのダウンタウンにあるカーミュージアムに行きました。「キッセル」というブランドの古い車がたくさんありました。また、昔実際に使われていた電車なども展示してありました。お土産としてロータリーのジャケットにつける用のバッジを買いました。

4月8日 友達と一緒にスーパーマリオブラザーズの映画を見に行きました。日本では28日に上映と聞いたので早めに見ることが出来て良かったです。

内容は他の映画よりも簡単だったので英語を理解しやすかったし、とても楽しむことが出来ました。また、その日がホストマザーの誕生日だったので誕生日プレゼントを買いに行きました。香水と一緒に英語と日本語で書いた手紙を渡しました。喜んで貰えたのでとても嬉しかったです。

4月9日 ダウンタウンに1人で散歩をしに行った時にとても自分の好みの場所を見つけました。最近ではストレスが溜まった時にそこに行ってコーヒーやアイスを食べながら音楽を聴くのが私の趣味のひとつです。川の音や水が流れる様子がとても見て癒されます。

学校終わりにジョージアから来た留学生と一緒にそこに行きました。お互いの留学の話やホストファミリーのことなどをお互いに共有し合っとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

4月19日 友達と一緒に帰っている時にとても大きなひょうが降ってきました。4月ということもあって少しずつ暖かくなってきて、とても晴れていたのに急に雪やひょうが降るので本当におかしな天気が続いています。ホストファミリーに聞くとウィスコンシン州の4月の天気はいつもおかしいと言っていたのでここではこれが普通のようなようです。ひょうはとても痛かったけど友達と騒ぎながら走って帰る時間はとても楽しかったです。

4月21日 中学校で「アナと雪の女王」のコンサートがありました。中学生がキャストとなり1週間にわたって公演がありました。ホストシスターもアナ役として舞台に出ていたのでホストファミリーと見に行きました。皆自信に溢れて芝居をしていて本当に中学生とは思えないぐらい素晴らしいショーでした。一人一人が輝いてとても見てよかったです。ホストブラザーがホストシスターの恋人役に嫉妬していて少し面白かったです。

4月22日 友達とウィスコンシン州にあるデビルズレイクという大きな湖に行ってきました。近くには大きな山があり、そこを登ることで山から湖が見れると書いてあったので登ることにしました。道のりは約5kmほどあり、坂道だったので本当にキツかったのですが、登りきった後に本当に登る価値があったなと思えるような景色がありました。久々に大自然に触れ合えたのでとても良かったです。

4月24日 ミルウォーキーを拠点にしているブルーワーズというメジャーリーグの試合を見に行きました。

ホストマザー曰く、その日はチケットが特別な値段で買うことが出来て、1人約4\$で試合を見ることが出来たと言っていました。

試合の途中でモニターに観客が映ることがあるのですが、「エンゲージ」と呼ばれるプロポーズがありました。YouTubeやテレビでしか見たことがなかったのでとてもアメリカを直で感じる事が出来ました。試合の結果としては4対2で負けてしまいましたが、沢山のホームランを見ることが出来たのでとても楽しかったです。

4月28、29日 ウィスコンシン州にあるTriConという街でロータリーの大きな集まりがありました。ウィスコンシン州の3つのディストリクトがそこに集まるので会ったことない留学生も沢山居ました。インバウンドとアウトバウンドだけで30人近くいました。

東京から来た日本出身の留学生とも会うことができました。初めて日本の留学生と会ったのでとても嬉しかったです。

ご飯をみんなで食べたり、カラオケに行ったり、スイミングプールに行ったり、ピザを食べたりしました。この集会でほとんどの留学生と会うのが最後になります。帰る時に今までの沢山の思い出が蘇ってきてとても悲しかったですが最後にみんなで沢山の思い出を作ることが出来たので良かったです。



スイミング



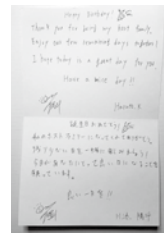
ブルーワーズ



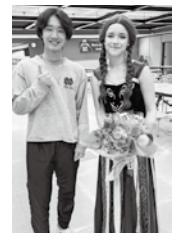
デビルズレイク



お気に入りの場所



手紙



コンサート

② 堀川 純二郎さん (スポンサーRC：雲仙 諫早南RC)

例会出席回数 0回/月

今月は何もなかったです

●その他近況等の報告

4/2 この日はジムの友達とまぜ麺のお店に行き、腹十分目ぐらいみんなで麺を食べ、バルクを目指してひたすら食べた一日でした。

4/5 この日はホストシスターの誕生日会を家で行いました。彼女は同じ学年なのですが4月生まれなのでおそく18歳をむかえました。ケーキもTHEアメリカといった色で青、黄、赤のきれいな色で思わずwowと言ってしまいました。

4/6 この日は、PR DAYということで大きめのジムに行き、デッドリフト410lbs、ベンチ160lbs、スクワットは足の調子が悪くできませんでしたがしっかり自己ベストを更新できたのでよかったです。また、ランチはshady mapleに行き、バルクをめざして一人5皿を目指して食べるに食べまくりました。一人4000円のビュッフェだけあって料理の質も、味もよくしっかり5皿の目標を達成することができました。

4/7 この日は、近くの池に近所の友達と釣りに行き、ブルーギルや、ナマズを釣りました。4月からは釣りのシーズンで釣りに来ている、おじさんたちとの会話はとても楽しく一見英語を使わないOutdoorですがしっかり英語も使いながら楽しめるという最高のactivityだと思いました。

4/8 この日はホストファミリーのみんなとボウリングに行きました。アメリカでは、ボウリングをするには高い費用を払わないといけないので、あまりポピュラーでないので好き嫌い、上手下手が分かります。ぼくは、日本でボウリングに行っていたのもあり、100点をどのゲームでも超えれました;) 友達と過ごす時間も楽しいですが、家族で過ごす時間も楽しいと改めて思いました。

4/19 この日は、放課後、ジムに行くまでに時間が余ったので、ラストホストファミリーのシスターたちと遊び、そのあとは、いつものジムとは違う大きなジムに行き、体の隅々まで鍛えました。

4/25 この日は朝3:30に起き、シャワーを浴びてフィールドトリップに行く準備をしました。朝の5:45に学校に集合しそれから二時間かけた目的地までバス移動を行い戦争のあった場所を学びながら移動しました、帰宅は8:00と一日がとても長く感じましたが、バスの中でも新しい友達ができとても有意義な時間を過ごせました。

4/27 この日は、環境科学の授業で隣町の森に行き2-3時間余り探索をして、環境についてまなびました。昼食は先生がピザを注文してくださり、森の中でみんなでピザを食べました。

今月は、あまり大きな行事もなくアツという間に過ぎた一か月だったのであまり目立つことはないですが、来月は、地区大会など大きなイベントがあるのでたのしみにしてください!!



③ 鬼塚 夏星さん (スポンサーRC：諫早北RC)

●その他近況等の報告

今月は1日から5日まで清明連暇という5連休がありました。4日間は、何人かのインバウンドのお友達とそのホストファミリーと、台北や宜蘭という場所に旅行に行きました。台北には、ドンキホーテがありました。日本の商品にしては比較的安かったですが、それでもやっぱり高いなと思いました。じゃがりこを買いたかったのですが、一つ250円くらいだったので諦めました。宜蘭では、海辺に行きました。泳いではいませんが、屋間の海も夜の海もとても気持ちがよかったです。また、有名な温泉スポットにも行きました。湯船に浸かったりはしていませんが、その綺麗な水でカップ麺を食べました。前食べた時より美味しく感じました。

5日目は、友達と夜市に行きました。夜市はとても美味しい食べ物の屋台がたくさん並んでおり、いつもお腹いっぱいになるまで食べます。安くて美味しいので、夜市はとても好きです。

8日は、朝5時に家を出て、6時からウォーキングをしました。ホストマザーはほとんど毎日走っています。この日はロータリーのランニングに参加しましたが、私は朝が早過ぎて歩くことしかできませんでした。しかし朝一から歩くとても気持ちが良かったです。そのあとはホストマザーとバドミントンをしに行きました。他にも10人ほどいて、みなさんとても優しい方で楽しかったです。

9日は、ホストマザーと映画を観に行きました。AIRという映画を観ました。英語に中国語の翻訳だったので難しかったですが、ある程度理解できた事がとても嬉しかったです。10日には、一緒に旅行に行ったインバウンドの友達と新しいマリオの映画を観に行きました。2日連続で映画館に行くとは思っていませんでしたが、とても面白かったです。

22日は、中国語のTOCFLテストを受けてきました。前回受けたのは11月で、その時はレベル1、band A1に合格しました。今回は、レベル3の、band B1に合格することができました。語学の成長をこうやって成績で表すことができ嬉しかったです。そのあとはテストと一緒に受けたお友達と海辺に行きました。とても楽しかったです。

とても楽しい毎日を送っているのですが、一つ気になることがありました。私の学校に、文句を書くfacebookのアカウントがありました。そして1人のインバウンドの子が文句を書かれていました。とてもがっかりしました。学校の対応もてきとうで、そのインバウンドの子がそのせいで学校を少し休んだら学校側はその子を帰国させようとしています。私にできる事はその子に寄り添う事しかありませんが、その子はとても大切なお友達なのであと2ヶ月ないというのに帰国してしまうとても悲しいです。そして学校側は文句を書いた犯人も見つけようとしないので、どこかにそんな人がいると考えると学校にいるのも憂鬱です。昼からの学校はとてもたのしいです。



台湾の博物館



宜蘭の大学



岸辺



フォトスポット



台湾で初めての映画館



友達とゲームをした

④ 馬場 心路さん (スポンサーRC：雲仙 諫早南RC)

例会出席回数 2回/月

学年末試験の影響であまりミーティングには参加できませんでした。だけど、誕生日を祝ってもらったりしました！来月は日本についてスピーチをしないといけないので頑張ります。



イースター



クッキー作った



バースデーパーティー1



お化け屋敷



バースデーパーティー2



prom 2023

佐賀ローターアクトクラブ例会参加報告

ガバナー月信編集長 吉松 潤二 (佐賀RC)

2023年4月19日(水)に佐賀市立循誘公民館で開催された「第10回・佐賀ローターアクトクラブ例会」に参加しました。

開会点鐘、ローターアクトソング斉唱、で始まり冒頭に「星野会長エレクト」のご挨拶がありました。引き続き例会では、会員・都筑さんのパワーポイントによるプリキュア説明がありました。

卓話要旨

「例会では女の子向けアニメにおけるジェンダー意識の変化をテーマにしたプレゼンを行いました。旧来の作品での女性像には、「王子様」との結婚=幸せ、男性に守られる存在といった描かれ方が多かったことを指摘しながら、近年の「プリキュア」シリーズでは「自立した女性」像を描いており、社会におけるジェンダー意識や価値観の変化が反映されていることを紹介しました。」

そして例会の最後は、安永恵子ローターアクト委員長(佐賀RC)による講評がありました。

例会終了後は、同じ会場で飲み物やおつまみを持ち込んだ手作りの懇親会が催されました。

会員相互の意見交換や米山奨学生を交えた交流では、幅広い内容の会話が弾みとても有意義で楽しい懇親会となりました。



星野会長エレクト



都筑さんの発表



米山奨学生 ワンニさん コウさん



例会後の懇親会

2023年3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第1グループ	佐賀	4	69.2	74	6	73	7	0	4	-4	-1
	小城	4	61.4	29	4	28	4	0	0	0	-1
	牛津	4	83.8	30	0	32	0	0	0	0	2
	多久	4	71.1	34	5	35	6	0	0	0	1
	佐賀大和	3	77.8	26	5	27	5	0	1	-1	1
小計		72.7	193	20	195	22	0	5	-5	2	
第2グループ	佐賀西	3	73.0	41	4	42	4	0	0	0	1
	佐賀北	4	63.9	44	3	42	3	0	1	-1	-2
	佐賀南	3	68.4	36	3	39	5	0	0	0	3
	神埼	3	74.8	35	4	38	4	0	0	0	3
	佐賀空港	3	72.5	17	0	17	0	0	0	0	0
小計		70.5	173	14	178	16	0	1	-1	5	
第3グループ	有田	2	69.4	31	2	31	2	0	0	0	0
	武雄	3	87.1	43	2	43	3	0	1	-1	0
	鹿島	3	81.7	30	3	31	4	0	0	0	1
	嬉野	4	91.0	27	1	26	1	0	0	0	-1
	大町	5	68.8	14	0	16	0	0	0	0	2
	太良	5	95.6	9	0	9	0	0	0	0	0
	小計		82.3	154	8	156	10	0	1	-1	2
第4グループ	唐津	3	85.4	57	0	54	0	0	0	0	-3
	伊万里	4	90.2	31	0	28	0	0	0	0	-3
	唐津東	5	90.4	48	0	50	0	1	1	0	2
	唐津西	5	88.0	28	0	27	0	0	0	0	-1
	伊万里西	4	87.9	36	1	37	2	0	1	-1	1
	唐津中央	4	87.3	35	5	34	5	0	1	-1	-1
小計		88.2	235	6	230	7	1	3	-2	-5	
第5グループ	佐世保	5	83.8	74	0	71	0	0	2	-2	-3
	平戸	4	94.3	24	1	22	3	0	1	-1	-2
	北松浦	3	76.8	22	0	23	1	0	0	0	1
	佐世保西	3	69.5	22	3	23	4	0	0	0	1
	松浦	5	88.1	25	1	27	1	0	0	0	2
小計		82.5	167	5	166	9	0	3	-3	-1	

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第6グループ	佐世保南	5	100.0	59	1	61	2	0	1	-1	2
	佐世保東	4	79.7	24	0	23	0	0	0	0	-1
	佐世保北 (衛星クラブ)	4	100.0	50	4	54 (11)	5	0	0	0	4
	佐世保中央	4	89.2	48	1	51	2	0	1	-1	3
	佐世保東南	4	62.0	34	1	32	0	0	0	0	-2
	HTB佐世保	3	80.3	22	3	24	3	0	0	0	2
	小計		85.2	237	10	245	12	0	2	-2	8
第7グループ	大村	3	90.2	40	4	40	4	1	1	0	0
	島原	3	88.1	29	2	29	2	0	0	0	0
	大村北	5	83.4	26	1	25	1	0	1	-1	-1
	島原南	4	58.0	15	0	15	2	0	0	0	0
	大村東	3	84.1	34	4	34	4	0	1	-1	0
小計		80.8	144	11	143	13	1	3	-2	-1	
第8グループ	諫早	4	65.6	73	0	77	0	1	0	1	4
	諫早北	4	85.2	78	4	78	4	0	1	-1	0
	諫早西	5	98.5	50	1	55	2	0	0	0	5
	諫早多良見	4	77.7	28	0	29	1	0	0	0	1
	雲仙諫早南	2	57.5	18	6	18	5	0	2	-2	0
	小計		76.9	247	11	257	12	1	3	-2	10
第9グループ	長崎	4	85.4	59	0	57	0	0	4	-4	-2
	福江	4	95.8	29	0	29	0	0	1	-1	0
	長崎北東	4	71.9	38	2	38	2	0	1	-1	0
	福江中央	3	93.5	16	1	17	1	0	0	0	1
	長崎西	3	74.7	35	0	36	1	0	0	0	1
	長崎琴海	3	61.1	7	0	7	0	0	0	0	0
	小計		80.4	184	3	184	4	0	6	-6	0
第10グループ	長崎北	3	74.0	73	0	71	0	0	5	-5	-2
	長崎南	4	80.7	70	0	66	0	1	2	-1	-4
	長崎東	4	77.8	37	1	37	1	0	0	0	0
	長崎みもと	3	79.4	28	0	29	1	0	0	0	1
	長崎中央	4	92.2	50	1	45	1	0	2	-2	-5
	長崎出島	4	75.4	71	8	72	8	0	1	-1	1
小計		79.9	329	10	320	11	1	10	-9	-9	
55クラブ合計			80.2	2,063	98	2,074	116	4	37	-33	11

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は
2022年7月1日から2023年3月末までの増減です。

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に記載させていただきます



唐津東RC

川上 敏 君
(株)花仙
 店長



大村RC

野島 涼 君
ヨシトメエ芸(株)
 専務取締役



諫早RC

塚原 史人 君
(株)ムラヤマ
 代表取締役



諫早西RC

山口 信一郎 君
信和建设(株)
 代表取締役



長崎南RC

杉本 忠昭 君
アイジータックス税理士法人
 税理士

物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



佐賀大和RC

堤 和之 君
 享年87歳



佐世保南RC

中村 文昭 君
 享年78歳

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団			米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名	種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	花島 光喜	鹿島	米山功労者	駒井 英基	佐賀南
マルチプル ポールハリスフェロー	石橋 一雄	佐賀南	メジャードナー	花島 光喜	鹿島
	吉岡 義治	佐賀南	米山功労者マルチプル	深谷 誓志	唐津中央
	深谷 誓志	唐津中央		西沢 雅幸	佐世保南
ポールハリスフェロー	橋爪 毅	諫早	比良 孝蔵	大村北	
	岩谷 正彦	佐賀南	米山功労者	田口 和人	鹿島
	山本 正樹	佐賀南	米山功労クラブ		鹿島
ベネファクター	下津浦 公	神埼			
	友永 俊介	諫早西			
	橋爪 毅	諫早			

ポリオ・ワンコインBOX報告

今月分BOX金額

累計金額

205,502

2,896,195

肥前國 の 風景

俵坂番所跡

〔佐賀県嬉野市〕

江戸時代、幕府の管轄を「関所」と呼び、藩の管轄を「口留番所」と呼びました。

俵坂番所跡を過ぎると長崎街道は、つづら折りに茶畑の中を進みます。

山里の集落や畑の中は、往時の街道巾が現存していて旅人の足音が聞こえてきます。



編集後記

上村ガバナーのメッセージを正確にお伝えできるようにと編集作業を進めてきました。

また表紙と背表紙の写真は自分達で撮影しようと決め、いろいろな場所に出向き、多くの方々のご協力のもと何とか編集することができました。

残りは、総集編がありますが皆様方のご支援に感謝申し上げます。(吉)

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒849-0913 佐賀市兵庫町大字淵4604-1
TEL 0952-37-3138 FAX 0952-37-3139
E-mail ri2740uemura@shunyoukai.jp
URL <https://rotary2740.jp/>

